



◆令和6年度第2回学校運営協議会を開催しました。

令和6年12月2日（月）に次の内容で第2回学校運営協議会を開催しました。

○授業見学

○協議事項1（学校運営に関すること）

- ・学校評価について
- ・地域と連携した教育活動について

○協議事項2（学校支援に関すること）

- ・グループ別協議（2グループに分かれて実施）

◆グループ別協議について

グループ別協議では、テーマを「美深町の様々な地域資源とつながる教育活動の充実に向けて」として、熟議をすすめました。



◎各グループから次のような意見が出されました（抜粋）

◆第1部会

- ・美深町には様々な文化があり、つながっていくことで対人でのコミュニケーションスキルを獲得することができる。
- ・販売会をとおして地域の方の声を聞き、次回の販売会に生かす。計画的に販売会を実施することで、達成感を得られたり、課題や問題点を考えたりすることができる。学科をまたいでコラボレーションすることができる、販売だけではなく商品のPRにもつながられる。
- ・製品数の確保は難しいと思うが、販売会の回数は多い方が良い。
- ・美深町は林業と農業が盛んである。農業科では堆肥を作る会社との関わり、木工科では木の伐採過程の見学などをとおして、自分たちの作業により関心をもつことができるのではないかな。
- ・製品のブランディングが重要である。それぞれの学科の製品にロゴを付けたり、記念品として渡している物に名前を入れたりできると良い。

◆第2部会

- ・町内の福祉事業所の販売会では、試食品を用意している場合がある。製品を見るだけでなく、実際に食べたり飲んだりしてもらうことで、購入につながる。本校でも試食品を用意することができるとよいのではないかな。また、製品の価格設定も重要で、安いとやはり売れ行きがよい。
- ・町内の学校祭や福祉事業所のイベントで、本校のブースを用意してもらったり、本校の学校祭に町内の学校や福祉事業所のブースを用意したりするなどして、連携して取り組むことができるとよい。
- ・役場と連携して製品や学習内容等をPRすることによって、広く地域へ本校の取り組みを発信することができる。
- ・製品に美深の食材や木材を使ったりすることをアピールすることで、付加価値が付くのではないかな。
- ・生徒の出身地域の特別支援学校と連携して、その市町村で販売会等を行うことができるとよいのではないかな。

本校公式「X」（旧Twitter）の開設について



第1回学校運営協議会でSNSの活用が話題にあがりました。そこで、このたび本校公式「X」を開設いたしました。公式「X」では、主に本校のホームページ更新情報をポストします。皆様フォローをよろしくお願いいたします。



https://x.com/bifuka_kouyou